

第七次栗東市行政改革大綱 平成 29 年度上期進捗状況一覽

第七次栗東市行政改革大綱進捗状況（部）		1
第七次栗東市行政改革大綱進捗状況（課）		3

第七次栗東市行政改革大綱平成29年度上期進捗状況一覧(部)

重点項目	詳細項目	主管部	主管課	平成29年度の取り組み方針	自己評価 (5段階)	自己評価(上期)
1 市民参画と協働によるまちづくりの推進	(1) 意識の醸成	市民政策部	自治振興課	市民参画と協働によるまちづくりの推進条例行動計画の推進	3	市民参画等推進委員会による検証。
	(2) 行政への参画	市民政策部	広報課	・市民アンケートの結果を踏まえた事業の推進と重点化	3	まちづくり座談会、市長への手紙、こんにちはトーク、出前講座、協働型FB、広報掲載など多様な事務で参画を進めている。
		市民政策部	自治振興課	市民参画による進行管理	3	市民参画等推進委員会にて進行管理。
	(3) 広聴制度の充実	市民政策部	広報課	・広聴制度の更なる充実の検討 ・ナレッジマネジメント推進のためのシステム化を検討	3	まちづくり座談会、市長への手紙、こんにちはトーク、出前講座、協働型FB、広報掲載など多様な事務で公聴を進めている。
	(4) 協働の実践	市民政策部	自治振興課	地域や団体、大学や企業など、公共サービスを担う主体の育成に向けた協働事業の展開。	3	龍谷大学と包括協定。
	(5) 地域との協働の推進	市民政策部	自治振興課	自治連合会、地域振興協議会、コミセンの連携充実。	3	自治連役員会、地域振興協議会連絡会、コミセン連絡会を開催。
2 地域資源とわがまち意識を育む行政運営	(6) プラス創造型改革	市民政策部	自治振興課	市民参画と協働によるまちづくりを推進する機能の充実と、大学連携に向けた取り組み。	3	龍谷大学と包括協定。
	(1) 事務事業の見直し	市民政策部	元気創造政策課、財政課	地方創生、元気創造等重点化する事業については、中長期見通し特定事業など全体と調整を図り進める。	3	各重点化事業は、中長期財政見通しに盛り込んだ。事業ならではのまちづくり視点は、徐徐に進みつつある。
	(2) 民間委託等の推進	市民政策部	元気創造政策課	・アウトソーシングの検討 ・広域行政の推進	3	・龍谷大学との包括連携協定により知識ベース、ナレッジを得られる。他事業についても情報収集とコーディネートに努める。 ・各広域行政協議会は、円滑に開催している。
		市民政策部	財政課	公共施設等総合管理計画を踏まえた個別施設の計画に向けた方針策定に取り組む。	3	公共施設等総合管理計画を踏まえた個別施設の具体的な取り組みに向けて、有効活用のための課題整理と優先性の検討を行うとともに、新たな地方公営制度への対応を行う。
	(3) 情報提供のあり方の見直し	市民政策部	広報課	・市民参画、対話概要など新たな情報発信を進める。	4	まちづくり座談会、市長への手紙、こんにちはトーク、出前講座、協働型FB、HP、広報など多様な手法で進めている。
		総務部	総務課	グループウェアシステムを活用した積極的な情報共有の効果的な手法を検討します。	2	グループウェアシステムの効率的な活用等を検討中。
3 規律を遵守した堅実な財政運営	(4) 経費の削減	市民政策部	元気創造政策課、財政課	・行政評価を引き続き実施 自治体情報セキュリティ強制性向上による情報システム活用最適化の効果的な手法を検討します。	3	品質目録マネジメントシート及び事務事業シートを作成、
		総務部	総務課	業務量調査等を踏まえた事務事業量の把握及び組織・人員の最適化検討を行います。	2	グループウェアシステムの効率的な活用等を検討中。
	(5) 人員の適正化	総務部	総務課	業務量調査等を踏まえた事務事業量の把握及び組織・人員の最適化検討を行います。	3	定員管理計画を踏まえた組織・人員の最適化などについて、引き続き検討を行います。
	(6) 外郭団体のあり方見直し	市民政策部	元気創造政策課	経営効率化、整理統合の検討	3	数次の改革により実効してきており、成果を検証して引き続き検討
		市民政策部	広報課、元気創造政策課	・地域資源を活用しながらシティセールス、栗東ブランドの周知、確立を進める	3	平成29年度実行計画を策定、実施 全部書で構成するシティセールス推進師会の開催
	(7) プラス創造型改革	市民政策部	自治振興課	市民のわがまちに向けた誇りや愛着意識の醸成に向けた支援。	3	元気創造まちづくり事業の29年度支援と30年度授業審査を実施。
		環境経済部	経済振興労政課	産官学金が連携し情報交換できる組織づくり	2	依然として情報収集と事務レベル協議にとどまっている。龍谷大学との連携協定の活用も検討したい。
	(1) 財政規律の確保	市民政策部	財政課	・財政運営基本方針の運用による財政運営の実施 ・選択と集中による予算配分の実施。	3	28年度健全化判断比率の算出により改善の確認と公表。
3 規律を遵守した堅実な財政運営		市民政策部	元気創造政策課	・ふるさと応援寄附金記念品の再検討 コンドニ収納の啓発等により払いやすい環境づくりを進めるとともに、債権管理条例施行に基づく適正な税金・債権回収への取り組みを進めます。	4	国の通知に沿いがらも、新たな品揃え返礼区分の創設、HPの充実などふるさとを応援する気風作りに努めている。
	(2) 歳入の確保	総務部	総務課、税務課	コンドニ収納の手続きを納税通知書に記載するなど納入の利便性向上に努めております。 ・債権管理条例の施行を踏まえ、債権管理連絡会議、事務手続きの周知、債権回収研修、総合相談事業(調整会議)等を実施し、債権の適正管理に取り組んでいます。	3	

第七次栗東市行政改革大綱平成29年度上期進捗状況一覧(部)

重点項目	詳細項目		主管部	主管課	平成29年度の取り組み方針	自己評価 (5段階)	自己評価(上期)
	歳入の確保	市民の暮らしを支える安定的な収入の確保					
3 規律を遵守した堅実な財政運営		歳入に応じた適切な支出	市民政策部	元氣創造政策課、財政課	・財政運営基本方針に則った中長期財政見通しの策定	3	特定事業は、時代に即した課題対応事業を選定の上議会報告を終えた。
	歳出の削減		市民政策部	財政課	公共施設等総合管理計画を踏まえた個別施設の計画に向けた方針策定に取り組む。	3	公共施設等総合管理計画を踏まえた個別施設の具体の取り組みに向けて、有効活用のための課題整理と優先性の検討を行うとともに、新たな地方公会計制度への対応を行う。
		コスト意識を醸成する市民との協働	市民政策部	財政課、元氣創造政策課	・使用料・補助金・負担金の基準づくりのための検討	3	従前の取組を継承しながらも、新たな基準作りの必要性は引き続き検討
	プラス創造型改革		市民政策部	経済振興政策課	産官学金が連携し情報交換できる組織づくり	2	依然として情報収集と事務レベル協議にとどまっている。龍谷大学との連携協定の活用も検討したい。
4 柔軟性のある組織体制に向けた風土改革	(1) 組織体制の整備	行政ニーズに対応できる柔軟な組織づくり	総務部	総務課	職員の士気を高める仕組みづくり及び意欲と能力を踏まえた適切な人員配置や定員管理計画に基づく組織体制等の検討を行います。	3	定員管理計画及び人材育成基本方針(第2次改訂版)を踏まえ、職員の士気を高める仕組みづくりや組織体制等について、引き続き検討を行います。
	(2) 人材育成	意欲と能力を高める計画的な人材育成	総務部	総務課	国・県との人事交流や外部人材登用の効果的なあり方を検討するとともに、人材育成基本方針改訂を踏まえた意欲と能力を高める計画的な職員研修の実施及び効果的な人事評価の運用を行います。	2	効果的な国・県との人事交流のあり方を検討中。 昨年度策定した人材育成基本方針(第2次改訂版)を踏まえた計画的な研修に取り組んでいます。 また、人事評価制度の運用に向けて、引き続き、職員組合との協議を進めてまいります。
	(3) 職場環境の活性化	コミュニケーション豊かな主体的な風土改革への改革	市民政策部	元氣創造政策課	・各種ナレッジマネジメントの推進に資する整理 ・職員提案制度活性のための気風づくり	3	職員提案制度は、一部に活性が業ればじめている。これを全庁的に広めナレッジマネジメントに繋げる様努める。
	(4) プラス創造型改革	行政への信頼感を育む市民との協働	市民政策部	総務課	・市長と職員や、組織横断的なコミュニケーションの強化、充実・広域交流による情報交換	2	効果的な取り組みとなるよう、取組み内容を検討中。
			市民政策部	元氣創造政策課	職員提案制度は、一部に活性が業ればじめているこれを全庁的に広めナレッジマネジメントに繋げる様努める。	3	品質目標マネジメントシート及び事務事業シートを作成、

第七次栗東市行政改革大綱平成29年度上期進捗状況一覧(課)

重点項目	詳細項目	改革項目	主管課	関係課	アウトプット指標		平成29年度の取り組み方針	5段階評価	自己評価(上期)	
					指標	指標				
市民参画と協働によるまちづくりの推進	(1) 意識の醸成	市民参画と協働のまちづくりへの理解促進	自治振興課			市民参画等推進委員会での二次評価(評価・検証)回数	市民参画と協働によるまちづくりへの理解を促進するため、市が目指す協働や新しい公共の姿、その取り組み方策等を明らかにし、今後の市民参画と協働によるまちづくりの指針となる「市民参画と協働によるまちづくりの推進条例行動計画」に基づき推進する。 【(上半期)】 「市民参画と協働によるまちづくりの推進条例行動計画」に基づき推進する。 【(下半期)】 「市民参画と協働によるまちづくりの推進条例行動計画」に基づき推進する。	3	市民参画等推進委員会を開催し、概ね計画通り推進している。	
		啓発・情報発信	自治振興課	広報課		「市民参画と協働によるまちづくり」通信配信回数	「市民参画と協働によるまちづくり」の市民参画の機会を通じて、市民参画と協働によるまちづくりへの意識の醸成を図るとともに、活動事例や成果を積極的に情報発信する。 【(上半期)】 市民参画と協働によるまちづくりへの意識の醸成を図るとともに、活動事例や成果を積極的に情報発信する。 【(下半期)】 市民参画と協働によるまちづくりへの意識の醸成を図るとともに、活動事例や成果を積極的に情報発信する。	3	概ね計画通り実施している。	
		パブリックコメントや各種アンケート調査などによる市民意向の把握	広報課			実施したパブリックコメントに対する意見の集約	【(上半期)】 パブリックコメントにより市民意向を把握し行政への市民参画を推進する。 【(下半期)】 パブリックコメントにより市民意向を把握し行政への市民参画を推進する。	2	H29.4.5～4.27栗東市立図書館基本運営方針(案)(意見0件)、H29.6.19～7.14栗東市人権擁護計画(中間改定)(案)(意見1件)実施。	
	(2) 行政への参画	PDCAサイクルの各段階での参画推進								
		市民参画と協働によるまちづくりの推進管理	自治振興課	元氣創造政策課			市民参画等推進委員会での二次評価(評価・検証)回数	個別計画や各種施策において、計画(Plan)段階、実行(Do)段階、検証(Check)段階、見直し(Action)段階において市民参画を推進し、市民目線を重視した取り組みを促進する仕組みを検討・実施する。 【(上半期)】 各施策において市民参画と協働を推進する仕組みを検討・実施する。 【(下半期)】 各施策において市民参画と協働を推進する仕組みを検討・実施する。	3	市民参画等推進委員会において行動計画に基づき進行管理している。
	(3) 広聴制度の充実	市民の意見や提案に関する情報のナレッジマネジメントの構築	広報課				「市長のこころにちはトーク」、「市民と気軽に」等、市長と気軽に話せる安心な元氣都市栗東をめざし、20年後の栗東市を語り合うまちづくり推進を実施する。 【(上半期)】 市長が参加しやすい環境づくりに努め、市長と市民の対話による協働のまちづくりを推進する。 【(下半期)】 いつまでもすみ続けたいと願う安心な元氣都市栗東をめざし、20年後の栗東市を語り合うまちづくり推進を実施する。 【(上半期)】 広聴制度を充実し、市民の意見や提案の共有化・明確化を図り、蓄積するしくみを作る。 【(下半期)】 広聴制度を充実し、市民の意見や提案の共有化・明確化を図り、蓄積するしくみを作る。	3	市長と気軽にまちづくり座談会4回、市長への手紙88件、市長のこころにちはトーク1回、出前トーク29回などの取り組みを行い、市民の意見や提案による対話型まちづくりを推進した。	
	(3) 広聴制度の充実	市民の意見や提案に関する情報のナレッジマネジメントの構築	広報課				ナレッジマネジメントの仕組みの検討	2	市民からの提案や意見は、市内LANなどを通じて組織内で共有している。	
		市民意見を公開する制度の検討・実施	広報課				市民からの意見を市政に反映するため、整理した情報を広報等で公開した件数(延べ件数)	3	市長への手紙やまちづくり座談会での市民からの提案や意見は、直接所管課に対応すること依頼しているほか、市内LANなどを通じて組織内で共有し、HPでも公開している。	
		市内各課による地域等への協働事業の参加呼び掛け・コーディネート	自治振興課				職員研修等への参加人数	3	今年度も協働事業の理解と推進のための研修を検討中。	
	(4) 協働の実践	公共サービスの主体を育む協働事業の充実	自治振興課	経済振興労働政策課、元氣創造政策課、学校教育課			職員研修等への参加人数	3	今年度も協働事業の理解と推進のための研修を検討中。	
	(5) 地域との協働の推進	地域活動補助金制度の活用・充実	自治振興課				協働事業提案制度実施団体件数	3	今年度も協働事業の理解と推進のための研修を検討中。	
		地域活動補助金制度の活用・充実	財政課				交付金化補助金延べ数	3	自治会活動交付金を交付済み。	

第七次東栗市行政改革大綱平成29年度上期進捗状況一覧(課)

重点項目	詳細項目	改革項目	主管課	関係課	アウトプット指標		平成29年度の取り組み方針	5段階評価	自己評価(上期)	
					指標	指標				
1 市民参画と協働による まちづくりの推進	(5) 地域との協働の 推進	自治連合会、地域振興協議 会、コミセンの連携充実のため の仕組みの検討・実施	自治振興課	生涯学習課	地域振興協議会開催回数		【上半期】 まちづくりの進展や、地域課題への柔軟な対応に向け、自 治連合会、地域振興協議会、コミセンの連携を充実するな かで、地域主体のまちづくりの検討を進める。 【下半期】 自治連合会、地域振興協議会、コミセンの連携充実のため の仕組みを検討する	3	地域振興協議会連絡会及びコミュニティセンター 管理運営関係委員会を開催し、検討協議中。	
		「市民人材・バンク」の仕組み づくり・運用	自治振興課	生涯学習課	人材・バンク登録団体数・人数(生涯学 習、ボランティアセンター)		【上半期】 市民参画と協働によるまちづくりの進展を図り、まちづくり情 報を集積・共有するため、市民人材・バンクの仕組みを構築・ 運用する。 【下半期】 市民人材・バンクの仕組みを検証検討する。	3	中間支援組織の充実とともに検討している。	
		NPOやボランティア団体、大 学や企業等との連携・プラット フォームづくり	自治振興課	経済振興・労政 課、元気創造政 策課、商工観光 課	プラットフォーム数		【上半期】 市民参画と協働によるまちづくりの進展を図るため、NPO やボランティア団体、大学や企業等との連携や、プラット フォームづくりを進める。 【下半期】 連携や、プラットフォームづくりを進める。	3	連携・情報交流する場の拡大について検討中。	
	(6) プラス創造型改 革		中間支援組織・機能の充実	自治振興課		中間支援組織数		【上半期】 市民参画と協働によるまちづくりを推進する中間支援組織・ 機能の充実を図る。 【下半期】 中間支援組織・機能の充実を図る。	3	充実を図るよう中間支援組織と協議している。
			大学包括協定など、積極的な 大学連携への取組み	自治振興課	元気創造政策 課、総務課、学 校教育課	連携大学数		【上半期】 市民参画と協働によるまちづくりの更なる進展を図るため、 大学連携に向けた取り組みを進める。 【下半期】 大学連携に向けた取り組みを進める。	3	包括協定締結済み
			事務事業の見直し・再編(優 先順位の決定)	元気創造政策課	総務課	事務事業の見直し・再編による公共 サービス主体の明確化		【上半期】 業務量調査に基づき、事務事業の見直しに着手する。 【下半期】 事務事業の見直し(優先順位の決定)に着手する。	2	業務量調査の結果を受けた事務事業量の把握に とどまっている。
2 地域資源とわがまち意識 を育む行政運営	(1) 事務事業の見直し	公共事業における投資的経 費の削減	財政課	元気創造政策課	普通会計市債残高		【上半期】 プライマリー・バランスの黒字維持につながる財政運営に努 める。 【下半期】 プライマリー・バランスの黒字維持につながる財政運営に努 める。	2	平成29年度の投資的経費の削減による市債発行 額の抑制を図る。	
		国・県予算及び施策の要望	元気創造政策課		国・県要望事項数		【上半期】 本年度に向けた要望事項を早期に取りまとめ、夏期に要望 活動を実施する。 【下半期】 緊急時に対応すべき事業について、国や県など関係機関へ の要望活動を実施する。	4	8月に平成30年度要望活動(29項目)を行うと ともに、別途個別施策(予算)要望活動を行うこと により、要望の実現に繋がった。	
		総合的・組織横断的なアウト ソーシングの検討・実践	元気創造政策課	総務課、自治振 興課	事務事業の見直し・再編による公共 サービス主体の明確化		【上半期】 業務量調査に基づき、総合的な観点により民間委託等を推 進する。 【下半期】 総合的な観点により民間委託等を推進する。	2	業務量調査の結果を受けた事務事業量の把握に とどまっている。	
	(2) 民間委託等の推 進	新たなアウトソーシングの推 進	公共施設等総合管理計画の 策定、計画的な維持管理の 実践	財政課		計画の策定及び施設の最適化の実施 (進捗率)		【上半期】 公共施設等総合管理計画を踏まえた個別施設の計画に向 けた方針策定に取り組む。 【下半期】 公共施設等総合管理計画を踏まえた個別施設の計画に向 けた方針策定に取り組む。	3	公共施設等総合管理計画を踏まえた個別施設の 具体の取り組みに向けて、有効活用のための課 題整理と優先性の検討を行うとともに、新たな地 方公営計制度への対応を行う。
			広域計画(連携協約)など広 域行政の推進	元気創造政策課	総務課	広域計画(連携協約)などの検討と推進		【上半期】 近隣市との広域行政協議会において広域的課題の解消に 努める。 【下半期】 広域的諸課題の解消に向けて、関係市と協議調整を重ねて いく。	3	湖南総合調整協議会や広域行政協議会(草津 市・守山市・湖南市)において、広域的諸課題を共 通認識することができた。
			情報提供のあり 方の見直し			ホームページアクセス件数、Facebook いいね！件数(開設後延べ件数)		【上半期】 平成29年4月24日スタートした協働型Facebook「うまさ ぎる栗家」により市民と行政が栗家の魅力を発信する。 【下半期】 市民と行政がともにブラッシュアップし、「うまさぎる栗家」で しか味わえないまちの魅力を発信を行う。	3	市民と行政の協働型発信により、Facebook「うま さぎる栗家」ページへの「いいね！」数が9月末で 1,231(前年度末からの増474)となった。 現在、市民記者(りっとうミツケーター)の登録率3 6.4%を得ている。
		グループウェアシステムを活 用した積極的な情報共有	総務課	元気創造政策課	「電子会議室」の開設数		【上半期】 グループウェアシステムの機能を最大限に活用し、積極的 な情報共有に取り組む。 【下半期】 活用について継続的に検討していく。	2	グループウェアシステムの活用については検討中 である。	

第七次栗東市行政改革大綱平成29年度上期進捗状況一覧(課)

重点項目	詳細項目		改革項目	主管課	関係課	アウトプット指標		平成29年度の取り組み方針	5段階評価	自己評価(上期)
						指標	指標			
2 地域資源とわがまち意識を育む行政運営			コストの見える化による事務改善の推進	元気創造政策課	財政課	事務改善の推進		【上半期】コストの見える化や業務の明確化を推進し進める。 【下半期】コストの見える化や業務の明確化を推進し進める。	2	業務量調査の結果を受けた事務事業量の把握にとどまっている。
	(4)	経費の削減	国・県等の補助制度の積極的な活用	財政課	元気創造政策課	グループウェアシステムを活用した継続的な制度紹介(実施率)		【上半期】国や県などからの情報提供に基づき、グループウェアを通じて各課に情報提供し、特定財源の積極的な活用を行っている。 【下半期】国や県などからの情報提供に基づき、グループウェアを通じて各課に情報提供し、特定財源の積極的な活用を行っている。	3	予算編成にあたり、国・県などから提供された情報を提供し、特定財源の積極的な確保を図る。
			情報システム活用の最適化	総務課		情報システム活用による紙・エネルギー・時間等の節減		【上半期】グループウェアシステムの機能を最大限に活用し、情報システム活用の最適化に取り組む。 【下半期】具体的な項目について活用を検討していく。	2	効果的な情報システム活用のあり方を検討中。
	(5)	人員の適正化	事務事業量の把握(東東モデルの構築)	総務課	元気創造政策課	職員一人当たりの市民の数		【上半期】事務改善、アウトソーシング等の視点を踏まえながら、適正な人員配置にしていこうに努める。 【下半期】新年度の業務量を把握し、適正人員の確保を図る。	3	定員管理計画を踏まえ、職員採用など人員確保に努めた。
			組織の適正化の検討・実践	総務課	元気創造政策課	職員一人当たりの市民の数		【上半期】定員適正化計画を基本に新規採用職員計画を策定し、採用業務を実施していく。 【下半期】新年度の業務量を把握し、適正人員の確保を図る。	3	定員適正化計画に基づき、新規採用職員計画を策定し、採用業務を実施できた。
	(6)	外郭団体のあり方見直し	外郭団体等の経営効率化・整理統合	元気創造政策課		外郭団体等の経営効率化・整理統合		【上半期】外郭団体等の経営効率化・整理統合を検討する。 【下半期】外郭団体等の経営効率化・整理統合を検討する。	2	一部の外郭団体等の経営状況等の把握にとどまっている。
			地域資源活用ビジョンの策定・実践	広報課		地域資源活用ビジョンの策定・実践		【上半期】市の地域資源を整理・活用し、市民の地元愛を醸成し、まちの魅力を発信する。 【下半期】映像プロジェクト(30秒CM制作)により、市民と行政が協働であるもの探しによるまちの魅力発信を行う。	3	7/11栗東市と龍谷大学による包括連携協定の第1弾として映像プロジェクト(30秒CM制作)を7/29にスタートした。 6回中3回が終了し、下半期は撮影、編集、試写会、公開を進めることとなる。
7 プラス創造型改革			人口ビジョン・総合戦略の策定・実践	元気創造政策課	広報課	戦略の策定・実践		【上半期】シティセールス戦略及びホースパークプロジェクトを推進し進める。 【下半期】引き続き、シティセールス戦略及びホースパークプロジェクトの推進に取り組む。	3	シティセールス戦略実行計画の策定により、連携及び役割を明確にすることができた。 ホースパークプロジェクトについては、開発許可要件調整を終えることができた。
			市民のわがまち意識(シビックプライド)の醸成	自治振興課	広報課、元気創造政策課	地域コミュニケーション進行調整担当課職員数		【上半期】市民のわがまちに向けた誇りや愛着の醸成を進め、市民の地元愛につなげる行政運営に取り組む。 【下半期】市民のわがまちに向けた誇りや愛着の醸成を進め、市民の地元愛につなげる行政運営に取り組む。	3	自治会等の運営支援を通じて、郷土愛の醸成に貢献している。ブランド担当と連携していく。
			都市のブランド戦略の推進	広報課		シティセールス戦略の策定・実践		【上半期】市に対する市民の誇りと愛着心を醸成し、市内外に向けた情報発信を行い、シティセールス活動を推進する。 【下半期】市外の大きなイベントでのくりちゃんによる市のPR活動を行うと同時に、孝区・自治会単位での活動を積極的に進める。	3	交通、防犯、観光、まつり、青少年など、市内外のイベントや事業にマスコットキャラクター「くりちゃん」を着ぐるみを出演させ、特に子どもたちに喜んでもらう。市のPRを行うことができた。 出勤回数 18回(前年同期36回)
3 規律を遵守した堅実な財政運営			新産業創造イノベーションの推進	経済振興労政課		収集した情報の分析		【上半期】官学官産関係の組織・ネットワークづくりを目指した情報収集 【下半期】官学官産関係の組織・ネットワークづくりを目指した情報収集	1	上半期は着手出来ていない。 龍谷大学との連携協定の活用も検討したい。
	(1)	財政規律の確保	財政運営の基本方針の策定	財政課	元気創造政策課	財政運営の基本方針の策定(達成率)		【上半期】財政運営基本方針を遵守した財政運営を行っていく。 【下半期】財政運営基本方針を遵守した予算執行及び予算編成を行う。	3	財政運営基本方針を遵守した財政運営のため、予算執行説明会等において周知を行うとともに、予算執行に努めた。

第七次東栗市行政改革大綱平成29年度上期進捗状況一覧(課)

重点項目	詳細項目	改革項目	主管課	関係課	アウトプット指標		平成29年度の取り組み方針	5段階評価	自己評価(上期)
					指標	指標			
規律を遵守した堅実な財政運営	(1) 財政規律の確保	総合計画と中長期財政見通し(特定事業)の一体的運用、「選択と集中」による予算配分の実施	財政課	元氣創造政策課	毎年度の中長期財政見通しの策定(改訂)	【上半期】 中長期財政見通し策定における特定事業の採択を通じて、事業の選択と集中を行っていく。 【下半期】 本年度予算編成に向けて、「選択と集中」による具体的な事業内容の精査を行う。	3	一定の前掲条件に基づき、策定・議会への説明及びホームページでの公表を実施済み。 今後、来年度予算編成に向けて、具体的な事業内容の精査が必要。	
		トップセールスの展開、企業誘致の推進	経済振興労政課		企業と地域基本計画新規雇用創出件数	【上半期】 企業との情報共有により連携を深め、フォローアップに努める。 【下半期】 企業との情報共有により連携を深め、フォローアップに努める。	2	上半期は2社にとどまっている。 訪問後のフォローアップは、随時行っている。	
	(2) 歳入の確保	コンビニ収納などの払いやすい連携づくり、使用料等への拡大の検討	総務課	財政課、会計課	コンビニ収納の割合	【上半期】 納税者の利便性向上を図るためのコンビニ収納の継続 【下半期】 納税者の利便性向上を図るためのコンビニ収納の継続	3	関係機関との連携のもと、確実なコンビニ収納を行っている。	
		ふるさと応援寄附金制度の活用に向けた記念品贈呈事業の再検討	元氣創造政策課	総務課、財政課、会計課、総務課	ふるさと記念品目数	【上半期】 総務大臣通知に基づき、記念品の選定(充実)や事務処理の見直しを行う。 【下半期】 寄付金の使途をより明確化(個別プロジェクト)することにより、寄附金額の増額を図る。	4	総務大臣通知に基づき、記念品や事務処理の見直しを8月中旬に終えた。また、記念品については、7品目以下の66品目として、9月1日から見直し後の制度で事業を展開。	
		市有地の売却、未利用地の有効活用	財政課		対象用地市有地の売却・活用件数	【上半期】 コメリへの早期処分及びその他用地の処分に向けた環境整備を進める。 【下半期】 コメリへの早期処分及びその他用地の処分に向けた環境整備を進める。	3	処分可能用地についても、関係者との協議・調整に取り組んでいる。	
		国・検討の補助制度の積極的な活用	財政課	元氣創造政策課	グループウェアシステムを活用した継続的な制度紹介(実施率)	【上半期】 国や県などからの情報提供に基づき、グループウェアを通じて各課に情報提供し、特定財源の積極的な活用を行っている。 【下半期】 国や県などからの情報提供に基づき、グループウェアを通じて各課に情報提供し、特定財源の積極的な活用を行っている。	3	予算編成にあたり、国・県などから提供された情報を流し、特定財源の積極的な確保を図る。	
	(3) 歳出の削減	広報料収入等による財源確保	財政課		公用車広告料、庁舎広告料	【上半期】 継続して庁舎及び公用車等の広告料収入を安定して得られるよう、広告募集等を随時行う。 【下半期】 継続して庁舎及び公用車等の広告料収入を安定して得られるよう、広告募集等を随時行う。	2	対象25台中13台に掲載済み。引き続き広告事業者の確保に努める。	
		税外債権の徴収率向上を図るための利用料金徴収条例等の検討・実践	総務課		債権管理に関する条例の制定	【上半期】 債権管理条例の適正な執行(連絡会議、研修会、総合相談)の徹底 【下半期】 債権管理、総合相談の周知及び私債権放棄手続きの適正な執行	3	債権管理連絡会議、事務手続きの周知、債権回収研修、総合相談事業(調整会議)等を実施し、債権の適正管理に取り組む。	
		職員・市民のコスト意識の醸成	元氣創造政策課	財政課	職員・市民コスト意識の醸成	【上半期】 業務量調査結果に基づき、業務コスト分析を行う。 【下半期】 業務量調査結果に基づき、業務コスト分析を行う。	2	業務量調査の結果を受けた事務事業量の把握にとどまっている。	
		公債費抑制のための目標設定、目標達成のルールづくり・実践	財政課	元氣創造政策課	実質公債費比率	【上半期】 財政運営基本方針に基づき、公債費の低減につながるよう低利での資金調達を行っている。 【下半期】 財政運営基本方針に基づき、公債費の低減につながるよう低利での資金調達を行っている。	3	財政運営基本方針に基づき、公債費の低減につながるよう、銀行等引受債の低利での資金調達に向けた協議調整を行う。	
		公共施設等総合管理計画の策定、計画的な維持管理の実施	財政課		計画の策定及び施設の最適化の実施(進捗率)	【上半期】 公共施設等総合管理計画を踏まえた個別施設の計画に向けた方針策定に取り組む。 【下半期】 公共施設等総合管理計画を踏まえた個別施設の計画に向けた方針策定に取り組む。	3	公共施設等総合管理計画を踏まえた個別施設段の具体的な取り組みに向けて、有効活用のための課題整理と優先性の検討を行うとともに、新たな地方公営計制度への対応を行う。	
		公共事業における投資的経費の削減	財政課	元氣創造政策課	普通会計市債残高	【上半期】 プライマリーバランスの黒字維持につながる財政運営に努める。 【下半期】 プライマリーバランスの黒字維持につながる財政運営に努める。	2	平成29年度の投資的経費の削減による市債発行額の抑制を図る。	

第七次東栗市行政改革大綱平成29年度上期進捗状況一覧(課)

重点項目	詳細項目	改革項目	主管課	関係課	アウトプット指標 指標	平成29年度の取り組み方針	5段階評価	自己評価(上期)
3 規律を遵守した堅実な 財政運営	(3) 歳出の削減	ライフサイクルコストを踏まえた公共工事の実施	財政課		公共施設等総合管理計画を踏まえた、中期財政見直し(特定事業)の毎年度の見直し(進捗率)	【(上半期)】公共施設等総合管理計画における基本方針を踏まえた中期財政見直し(特定事業)の毎年度の見直し(進捗率)に向けて、個別施設の具体的な取り組みに向けて、課題整理を行った。 【(下半期)】公共施設等総合管理計画における基本方針を踏まえた中期財政見直し(特定事業)の毎年度の見直し(進捗率)に向けて、課題整理を行った。	2	
	(4) プラス創造型改革	コスト意識を醸成する市民との協働	財政課	広報課	予算・決算等の財務情報への定期的な情報掲載(実施率)	【(上半期)】予算・決算等の市広報や市ホームページについて、より分かりやすいといった観点で見直し検討を行う。 【(下半期)】予算・決算等の市広報や市ホームページへの情報掲載について、より分かりやすいといった観点で見直し検討を行っている。	3	本年度予算の概要及び中期財政見直し等を広報、ホームページにおいて公表済み。
			元気創造政策課		受益者負担や使用料、補助金・負担金の基準づくり・実践	【(上半期)】受益者負担等の基準原案の検討を行う。 【(下半期)】受益者負担等の基準原案の検討を行う。	1	受益者負担等の基準の作成に至っていない。
			経済振興労政課		収集した情報の分析	【(上半期)】官学金連係の組織・ネットワークづくりを目指した情報収集 【(下半期)】官学金連係の組織・ネットワークづくりを目指した情報収集	1	上半期は着手出来ていない。 龍谷大学との連携協定の活用も検討したい。
4 柔軟性のある組織体制 に向けた風土改革	(1) 組織体制の整備	事務事業量の把握(標準モデルの構築)	総務課	元気創造政策課	職員一人当たりの市民の数	【(上半期)】事務改善、アウトソーシング等の相点を踏まえながら、適正な人員規模にしていこうに努める。 【(下半期)】新年度の業務量を把握し、適正人員の確保を図る。	3	定員管理計画を踏まえ、職員採用など人員確保に努めた。
		職員の士気を高める仕組みづくり	総務課	元気創造政策課	人事評価の実施(実施率)	【(上半期)】一般職の人事評価(目標管理)のシートやマニュアルを策定する。 【(下半期)】一般職の人事評価(目標管理)のシートやマニュアルを策定し、職員組合と協議中。	2	一般職の目標管理のシートやマニュアルを策定し、職員組合と協議中。
		職員の意欲と能力を踏まえた人員配置	総務課		職員一人当たりの市民の数	【(上半期)】定員適正化計画に基づき、追加職員採用を実施し7月に配置を定める。 【(下半期)】定員適正化計画に基づき、追加職員採用を実施し7月に配置を定める。	3	追加職員採用を実施し7月に6名の新規採用の配置ができた。
		計画的な定員管理と専門職員の確保、職員の年齢構成バランスの確保	総務課	総務課	職員一人当たりの市民の数	【(上半期)】定員適正化計画に基づき、追加職員採用を実施し7月に配置を定める。 【(下半期)】定員適正化計画に基づき、追加職員採用を実施し7月に配置を定める。	3	追加職員採用を実施し7月に6名の新規採用の配置ができた。
		組織改革・人事異動方針の決定プロセスの見直し・充実	総務課	元気創造政策課	組織見直しの実施	【(上半期)】組織改革や自己申告書の反映状況を確認し、今後の検討材料とする。 【(下半期)】新年度の業務遂行に必要な組織の見直しと対応検討。	3	再任用職員の次年度希望の把握を行った。
		国・県との人事交流や外部人材登用の推進	総務課		人事交流・外部人材登用の実施	【(上半期)】次年度以降の派遣先の検討等を実施する。 【(下半期)】次年度以降の派遣先の検討等を実施する。	3	国への派遣職員について協議を実施した。
	(2) 人材育成	人材育成基本方針の見直し、計画的な職員研修を通じた職員の意識改革の推進	総務課		集合研修参加率(正務職員)	【(上半期)】人材育成基本方針(第2次改定版)による計画的に研修を実施。 【(下半期)】人材育成基本方針による研修計画に基づく研修の実施。	3	改定後の人材育成基本方針に基づき、計画的な職員研修を実施した。
		意欲と能力を高める人事評価制度の導入・実践	総務課	総務課	全職員を対象とした人事評価の実施(実施率)	【(上半期)】人事評価(目標管理)制度の実施に対する職員への理解(職員組合)を得て、実施していく。 【(下半期)】早期に職員組合との協議を完了し、実施に移行していく。	2	一般職への目標管理制度の実施に対する職員組合との協議を実施している。
		市内のナレッジマネジメントの構築・運用	元気創造政策課	広報課	市内のナレッジマネジメントの構築・運用	【(上半期)】ナレッジマネジメント手法を整理する。 【(下半期)】ナレッジマネジメント手法を整理する。	1	ナレッジマネジメント手法の整理ができていない。
	(3) 職場環境の活性化	市長と職員や、組織構造的なコミュニケーションの強化・充実	総務課	元気創造政策課	市長と職員の情報共有の実施(回数)	【(上半期)】部長長会(特定事業)の毎年度の見直し(進捗率) 【(下半期)】部長長会(特定事業)の毎年度の見直し(進捗率)	2	部長長会においては、単なる連絡事項のみにならないように改善に取組んだ。
		職員提案制度に充実、アイデアを施策に反映する仕組みづくり	元気創造政策課	総務課	職員提案制度の充実を行う	【(上半期)】職場環境改善文は事務事業経減に十分効果がある施策改善2件(実施すべきと決定)の提案が得られた。 【(下半期)】職場環境改善文は事務事業経減に十分効果がある施策改善2件(実施すべきと決定)の提案が得られた。	3	職場環境改善文は事務事業経減に十分効果がある施策改善2件(実施すべきと決定)の提案が得られた。

第七次栗東市行政改革大綱平成29年度上期進捗状況一覧(課)

重点項目	詳細項目		改革項目	主管課	関係課	アウトプット指標 指標		平成29年度の取り組み方針	5段階評価	自己評価(上期)
	(3) 環境連携の活性化	コミュニケーション豊かな主体的な風土への改革				他市や民間企業との人事や交流による 情報交換会の回数		(上半期) 人事担当により、他市の情報を取得し今後の計画に生かしていく。 (下半期) 新年度に向けた人事交流について検討を行う。		
4 柔軟性のある組織体制 に向けた風土改革			市民の意見や提案に関する 情報のナレッジマネジメントの 構築	広報課		ナレッジマネジメントの仕組みの検討		(上半期) 広聴制度を充実し、市民の意見や提案の共有化・明確化を図り、蓄積するしくみを作る。 (下半期) 広聴制度を充実し、市民の意見や提案の共有化・明確化を図り、蓄積するしくみを作る。	2	市民からの提案や意見は、庁内LANなどを通じて組織内で共有している。
	(4) プラス創造型改革	行政への信頼感を育む市民との協働	市民に分かりやすい組織目標の設定・目標管理、市民への情報発信	元気創造政策課	総務課	市民に分かりやすい組織目標の設定・目標管理、市民への情報発信		(上半期) 品質目標マネジメントシート及び目標進捗状況シートに基づき、進捗管理を行う。(前期部別経営会議開催) (下半期) 後期部別経営会議において評価検証(一斉評価)を行うとともに、総合計画審議会等において二次評価を行う。	3	評価・検証を容易に行うため、次年度以降の品質マネジメントシート(簡素化案)を作成した。
			総合計画の進捗管理と目標管理を運動させた市民に分かりやすい行政評価手法(案東モデル)の構築・実践	元気創造政策課	総務課	行政評価指標(案東モデル)の構築・実践		(上半期) 品質目標マネジメントシート及び目標進捗状況シートに基づき、進捗管理を行う。(前期部別経営会議開催) (下半期) 後期部別経営会議において評価検証(一斉評価)を行うとともに、総合計画審議会等において二次評価を行う。	3	評価・検証を容易に行うため、次年度以降の品質マネジメントシート(簡素化案)を作成した。